

魅 Can 部 R7. 7月の取組

私たち地域デザイン部は、7月1日(火)関川小学校7月7日(月)長津小学校にて、小学3年生を対象とした交通安全教室を開催しました。今回の取り組みは、私たちにとって初めての大きな活動であり、準備の段階から本番当日まで、たくさんの学びと挑戦がありました。初めてのことばかりで戸惑うことも多く、不安もありましたが、何とか無事に終わることができ、大変貴重な経験となりました。

この交通安全教室では、まず「止まって安全確認をすること」と「自転車に乗るときの準備をきちんとすること」の2つを大きな目標として設定しました。そして、その目標に沿って、次のような3部構成のプログラムを企画しました。第1部では、教室での講義形式を取り入れました。



内容としては、小学校周辺の危険な場所についての説明、飛び出し事故の危険性とその対策、「止まること」の重要性についてのお話、ヘルメットの正しいかぶり方、手で合図を送る「ハンドサイン」のやり方、そして交通ルールに関するクイズなどを行いました。特に飛び出し事故については、小学生がどのように危険を感じ、避けられるかを真剣に考え、伝え方を工夫しました。危険な場所の説明では、普段から子どもたちがよく利用する通学路や遊び場がテーマだったため、みんな興味を持って話を聞いてくれました。第2部は、学校のグラウンドに設置した「セーフティーコース」を使った実技指導です。このコースは、私たち生徒が一から考案したもので、安全に自転車を走行するためにはどうすればよいかを考え、実際の場面を想定して設計しました。白線を引く作業やコースの配置、標識の制作など、すべて自分たちで行ったため、時間も手間もかかりましたが、みんなで協力して完成させました。小学生がわかりやすく、安全に楽しく体験できるように、何度もリハーサルを行い、役割分担も細かく決めて臨みました。第3部では、これまでの講義や実技の内容をしっかりと振り返り、小学生たちが学んだことを整理できるようにまとめの時間を設けました。暑い中での実施となりましたが、小学生のみなさんはとても元気で、私たちの話にも熱心に耳を傾けてくれたおかげで、教室は大きなトラブルもなく、無事に成功させることができました。



今回の活動を通して、私たちは準備や伝え方の難しさを実感し、反省点や改善すべき点も多く見つかりました。しかし、それ以上に、小学生に交通安全の大切さを伝えるという意義深い経験ができたことに、大きな達成感と喜びを感じています。また、この交通安全教室の実施にあたっては、ライオンズクラブの皆さま、小学校の先生方をはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。



今後も、私たち地域デザイン部は、地域の皆さんとともに、安全で元気なまちづくりを目指して、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思っております。今回の経験を生かし、より良い交通安全教室を作り上げていけるよう、努力を重ねてまいります。